



私たちは花が好き、緑が好き、人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

ネット通信

# 花便り

19 (2010年12月20日号)

## 報 告

### 華やかに空間を彩ったハンギングバスケット

Merry Christmas



『園芸福祉ふくおかネット』の会が設立して6年と5カ月になります。今回、園芸福祉の活動が認められ福岡市長から感謝状をいただきました。会の活動が認められて大変うれしく、励みになります。花とみどり溢れる町づくりでみんなの心にも温かな花が咲きますように。メリークリスマス! そして来年もいい年でありますように。

山崎 博子



昨年のグリップキャンペーン2009で、園芸福祉の庭に飾ったハンギングバスケットが大好評! 今年もみんなでウエルカムバスケットを作って、来場者をお迎えました。



「ガーデニングワールドカップ 2010ナガサキ」会場にて

今年の『グリップキャンペーン 2010』は、開園30周年を迎えた福岡市植物園で、10月30・31日開催されました。私達の作ったハンギングバスケットは、メイン会場ステージに花を添えさせていただきました。同イベントでは、街の空間を彩るハンギングバスケットをアピールし、ポスターやチラシ、会場の花飾りやデモンストレーション、体験講座など、いろいろな形でハンギングバスケットの素晴らしさを紹介しました。そのメイン会場を飾る展示担当者として責任の重大さを感じました。9月22日の製作講座には、15名の会員の方が参加されました。

いつも花を扱っていらっしゃる方たちですが、説明にも真剣に耳を傾けてくださり、流石です! 数の多

い花苗も上手に植えて仕上げることができました。

植物園で養生や管理をしていただいて開催日の飾り付けを待っていた私達の作ったハンギングバスケットが急遽、ハウステンボスで開催される「ガーデニングワールドカップ2010ナガサキ」の会場にも展示されることが決定!! 花屋さんのトラックに乗せられ、日本ハンギングバスケット協会福岡県支部で製作された作品と一緒に「ガーデニングワールドカップ開催を祝し、福岡市民が作ったハンギングバスケット」として展示されました。ハウステンボスでの10日間の展示は、多くのお客様に楽しんでいただき、福岡市のPRのお役に立つことができました。その後、植物園のメイン会場に飾られた私達の作ったハンギングバスケットは、何だか誇らしげに輝いているようにも見えました。多くの皆さまのお力で素晴らしい体験をさせていただくことが出来ました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

黒瀬 恵子



福岡市植物園メイン会場にて

アイランドシティー中央公園内にある「園芸福祉の庭」。この五感を感じる庭のリニューアルに向け、花壇設計講座(講師・石井 康子さん)を2回シリーズで開催しました。受講した22名は石井さんから出された花壇設計図の宿題を提出して、講師からのコメントを参考に各グループに分かれて植え込み作業を計画。植え込みの花苗を集計し、各グループのリーダー、山崎代表、新屋で買出し準備をしました。11月13日(土)、勤労者とその家族がボランティア活動に親しむ「勤マルの日」に、花や緑に親しんでもらおうと花苗の植え込みをしてもらうことになりました。大人や子どもなど32人が植え込み作業を体験しました。作業後のティータイムは、大好評のハーブティーをいただきながら、楽しくおしゃべりに花を咲かせました。



車椅子利用の人たちと一緒に楽しむ花壇  
(レイズドベッド)



視覚に障がいのある人たちと一緒に楽しむ花壇

各グループに分かれて花壇作りまで参加してくれた会員のみなさまお疲れ様でした。

松永グループ(吉川、堀内、井上、島添)  
二俣グループ(山崎、新屋、米倉、渡辺、國松)  
金澤グループ(黒瀬、小山、青崎陽子)  
坂口グループ(西川、諸隈、井出)  
龍グループ(青崎、横大路、魚谷)



高齢者の人たちと一緒に楽しむ花壇



ストレスを解消する花壇



子どもたちと一緒に楽しむ花壇



## 北九州高等学園で 園芸福祉の外部講師

10月27日、11月10日、12月7日、14日計4回の外部講師として参加しました。



毎回10名前後の生徒たちと一緒に土作りや花壇作り、花かご（小さな寄せ植え）などの授業をしました。生徒たちはピュアで秘めた能力や個性も個々に違い、感性も豊かな子どもたちです。ただ楽しい趣味の時間ではないので、授業としてのけじめをつけながら、ちゃんと理解してもらえかが課題でした。

## 福岡県「花のアドバイザー（花育活動）」 福岡市立千早西小学校にて

子どもたちが土や花に親しみながら、周りに生きている小さな虫や鳥たちにワクワクドキドキ！ここは、千早西小学校・フラワーゾーン「花ロード」。「豊かな心を育み、大きな自然の輪の中で、心と身体のバランスを保ちながら子どもたちがすくすくと育ちますように!!」と千早西小学校での活動を始めて6年目。

今年も来春の卒業・入学式に向けて、11月29日（月）9:30～12:00、暖かな陽だまりの中、ピオラ、アリッサム、キンセンカ、ノースポールなど、赤・黄・紫・オレンジ色、沢山の花を植え込みました。校長先生や担任の先生、クラス担任の先生方々、そして、ネンリンクラブの方、花ボランティアのみなさんにも公民館から声を掛けて頂き、たくさんの参加者で花植えの作業をしました。

今回は今まで以上に、にぎやかでワイワイ楽しく植えることが出来ました。そして、理科園芸委員の生徒さん（13人）と他に特別支援

私達講師（机上理論）は、頭では理解していても現場の実体験や経験することの大変さを痛感しました。説明をしていると生徒たちから「ハイ!」と大きな返事が返ってくるので「分かってくれた!」と判断して、違う子に目を向けてると・・・その子は戸惑ってしまったり。一つ一つ子どもたちから教えられ、毎回学ぶことばかりです。

来春も三学期三回の講師依頼が来ています。機会があれば自身のスキルアップに、授業現場の参加をぜひお勧めします

松永 加代子



学級の先生と生徒さん（3人）も参加してくれました。12月14日（火）花壇を見学に行くと、数日前に雨が降ってくれたお陰で、苗の根がしっかりと根付き、花もきれいに咲いていました。また、真っ白なプレートにはきれいな字でそれぞれ花の名前が書き込まれていました。思わず嬉しくなりました。 嶋添 裕子



## 台北花博「国際庭園」出展 エコ・アジア・五感の庭

私達は エコ・アジア・五感の庭 ……50年後の家族へ……をテーマに日本と台湾の市民の協働により制作・実現させました。

一年前から準備にかかり、どんな庭にしたらよいか模索しました。「園芸福祉活動ができる交流のできる庭にしたい」。これはスタッフ全員の思いでした。実現するためには組織を充足しなくては…。多くの人の協力を得なければ一人や二人の力ではどうにもなりません。しかし、動き出したときは時すでに遅く、助成金等の申し込みの時期は過ぎていました。一番必要な資金のめどがたたない。時間はどんどん過ぎていきました。さらに言葉の壁もありました。資材運搬は海を越えるので運賃がかかりすぎます。大変なことに足を踏みこんでしまった(汗)。もう、四面楚歌状態でした。今から思えばよく出来上がったと思います。今まで上げた困難項目以外に大変な暑さ、土の悪さ、品物不足材料集めが大変でした。台風は来るし、しかし日本から行ってくれた技術者のみなさんがよく働いてくれました。本当にありがとうございました。

弥生時代の智慧の出どころの要で明るく前を見て笑って行くしかありませんでした。完成した今日庭は癒しを与え、家族連れの憩いの庭であり、交流の場でありカメラマン達の一番にぎわう庭になっています。どこも水辺はありますが一番清らかなすんだ水の流れを演出しています。



振り返れば苦しく泣きながらの60日でしたが、こんなに充実した60日はなかったです。得ることいっぱいの2010年の暑い熱い夏でした…。

そして、季節は夏から秋、冬へと変わり…、建築士会の応援支援金を握りしめ、花市場で真っ赤なポインセチアを買い求め植え込みました。赤色は見る人を元気にしてくれていいですね。クリスマスバージョンに変化した私達の庭へ釜山から22人の方がクリスマス飾りを持参し応援に駆けつけてくれました。韓日台3国の交流会が行われみんなで飾り付けをしました。日本園芸福祉普及協会の吉長理事長、粕谷事務局長の参加も心強かったですね。それに釜山花卉消費会が韓国花卉園芸福祉協会と名前を変えられたことは大前進の朗報です。台北市の花博大会委員長も陳(小山)さんの大奮戦で来賓挨拶され花を飾ってくれました。

来春2月11日は「緑・水・国際フォーラムin台北」の開催を予定しています。

資金集めの灼金地獄を取り除けば、大成功の花博国際庭園園芸福祉の庭づくりであったと自負できるのでは？ 年末ジャンボ当選の方はご寄付お願いしま～す!(笑) 台北より角銅 久美子





## 事務局からのお知らせ

視覚障がい者の方々と一緒に  
ワークショップを開催します。  
障がいについて学び、理解し、知識を  
深めましょう。参加お待ちしております。

と き 2011年1月15日(土)  
14:00～15:00

ところ あすみん

15:00より定例会を行ないます。

黒瀬 090-8626-1586



## グリップキャンペーン2010 体験報告

10月30・31日福岡市植物園で開催されたグ  
リップキャンペーン2010で、私はハーブ担当  
として参加しました。同会場に設けられた園  
芸福祉ふくおかネットのブースにてミント、  
レモングラス、ハイビスカスローゼルなどを  
用いたハーブティーの販売を体験しました。

はじめはハーブの分量がどれくらいで良い  
のか見当もつかず、試行錯誤の連続でどうな  
るか不安いっぱいでした。しかし、次第に  
コツをつかみ始めると材料が残り僅かとなり  
急遽メンバーで作戦会議を開き、茎ごと切り  
採って飾っておいたハイビスカスローゼルを  
使うことにしました。花のガクを外す手が



## アイランドシティ中央公園

### 「園芸福祉の庭」定例会のお知らせ

毎月最終日曜日に除草や花の定植など庭の  
手入れ作業をしています。

次回は2011年度1月30日(日)10:00～12:00

皆さんの参加をお待ちしています。



真っ赤に染まってテンヤワンヤの大騒ぎでし  
たが、それはそれで楽しくみなさんと販売体  
験ができ、親交が一層深まりました。

来場した沢山の方々からは「美味しかった!  
我が家にもハーブがあるので、簡単そうだから  
今度作ってみるわね(^v^)」と声を掛けて頂き  
たった一杯のハーブティーから垣根を越えた  
新たな交流が築けました。 松藤 真貴

### 編集後記

玄界島公民館より寄せ植え講座の依頼があり、山  
崎代表と担当させていただくことになった。初講座  
に緊張しながら数日前から苗の購入、資料作り、見  
本の寄せ植えを作ったりして準備完了。講座前日に  
材料は船便で送り届け、当日は小雨の振る中、車を  
走らせ船着場に10分前到着。乗船しようと切符を渡  
すと、切符切りのおじさんが一言。「この天候で帰  
りの便が出ないかも? 知れんけど乗るね」「えっ!  
そんな～」急いで公民館へ電話すると「船には乗ら  
ないでください」と返事が返ってきた……。二人  
して緊張が途切れ、寄り道する気力も失せ、ヘトヘ  
トに疲れ果て帰路に着いた。結局電話でやり取りを  
しながらの私の初講座となった。疲れた～。

よねっちの独り言

## あなたも活動紹介をしませんか？

個人やグループ、学校、地域などで行っている園芸活動をお知らせください。メールやお手紙に写真を添えてお送りください。

送り先 / 〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25

園芸福祉ふくおかネット事務局 黒瀬 恵子 宛

Eメール/engei.fukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp

皆様からのお便り  
をお待ちして  
いま～す。



### 会員紹介



ボランティアは、  
夫婦協働の宝庫ですよ!

43年前の青崎 安孝さん、  
陽子さんご夫婦  
(古賀市在住)

私達は生年月日が全く同じなんです。役所などで「記述に間違いがあります…」と係員に指摘されたりすることがあるんですと話す青崎夫妻。いつも一緒にボランティア活動をしている二人にお話を聞きました。

**ボランティアを始められたきっかけは？**

平成12年、古賀市緑のまちづくりの会発足の直後頃にメンバーとして活動を始めました。

現在古賀市緑のまちづくりの会の代表幹事として、中心事業の植樹関連事業と園芸福祉事業の2本立ての活動をしています。

来年3月で市民に約束した“10年で10万本の植樹”が完了します。園芸福祉では、市内の施設や公園、幹線道路の花壇の植栽・管理。“えんがわくらぶ”のお花をどうぞの世代間交流と地域コミュニティー作りの作業。そして毎週火曜日の”はなちどり“の定例作業での花苗育苗などの活動をしています。毎日忙しくて…。

**ボランティアをして良かったことは**

活動するなかで得た繋がりは何十倍にも膨れ上がります。心からの信頼を得たコミュニティーで、お互いに助けられる世界が出来たと思っています。

**夫婦円満の秘訣って**

お互いに一生懸命人生を過ごすのに、どうして別々の道を歩くのでしょうか。一緒にボランティアをしていると協働の場所が自然にできます。あまりにも愛する夫婦の協働が少なすぎませんか？ みなさんも夫婦で参加してみませんか。大歓迎ですよ!

いつも夫婦で同じ所に出かけるのは、安心・安全ではありますが、たまには些細なことでけんかをすることもありますよ、と微笑む二人でした。

### 園芸福祉ふくおかネット事務局

- TEL 090 - 8626 - 1586(黒瀬)
- E-mail engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp
- URL www.engeifukusi-fukuoka.net
- 〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25
- ネット通信 花便り 編集者 米倉 治美・水島 修子(旧姓尾島)